

# 研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

核医学画像処理ワークステーション 3D Filter と cardioREPO 搭載 3D Filter 処理画像における解析ソフトウェアへの影響に関する検討

## 1. 研究の対象および研究対象期間

2018年4月1日～2024年3月31日に昭和大学病院で負荷心筋血流シンチを受けた患者さん

## 2. 研究目的・方法

今回の研究対象である心臓核医学検査は、心筋に集積する放射性医薬品の状態を画像化して評価することができます。しかし、心臓の近くにある他の臓器(肝臓など)にも集積してしまうため、画像化する際にそれがノイズ(アーチファクト)となり正確な評価ができない場合があります。そういったアーチファクトを低減させる技術として MUS 法という新しい画像解析のプロセスが開発されました。

そのプロセスを実施するにあたり複数の装置で処理が可能になっています。しかし、もし装置間で結果に違いがあると正確な評価はできません。そこで、装置間で同じ結果になるかどうかを確かめる必要があります。

今回の研究は、新しい画像解析のプロセスを用いて心臓を評価するための指標を得る際に、装置間で違いがないかを評価することを目的としています。

### 【研究の資金源および利益相反について】

本研究は、PDR ファーマ株式会社から資金提供を受けており、利益相反関係があります。研究実施中も研究者等の利益相反状態を管理し続けております。

本研究における研究者の利益相反については、昭和大学利益相反委員会において、適切に管理され、公正な研究を行うことができると判断を受けたうえで実施しています。また、学会発表や論文公表に際しても、利益相反に関して公表し、透明化を図ることとしています。

## 3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2025年 12月 31日まで

**4．研究に用いる試料・情報の種類**

心筋血流シンチの検査をした患者さんの「負荷時の欠損スコア」「安静時の欠損スコア」「拡張末期左心室容積」「収縮末期左心室容積」「位相解析」「バンド幅」「振幅」を調査項目とします。

**5．外部への試料・情報の提供**

該当いたしません。

**6．研究組織**

研究責任者      研究機関名 昭和大学病院                      氏名 吉田真也

**7．お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院 放射線技術部      氏名：吉田真也

住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8      電話番号：03-3784-8571